

令和4年度 第2回 図書館協議会 会議録

1 日 時

令和4年12月20日（火）午後2時30分～午後4時00分

2 場 所

ラトブ4階 いわき総合図書館 学習室

3 出席者

(1) 委 員

委員 長 草野 チエ子

副委員 長 小野 順一

委 員 坂本 義仁、齋藤 日和、柳田 明美、草野 祐香利、有賀 史人、
長岡 智子、栃内 賢一

欠席者 三重野 徹

(2) 事務局

ア いわき総合図書館

館長、山野邊副館長、小泉副館長、渡邊主任主査、総務管理係長、
情報資料係長、鈴木主事、堀金主事

イ 地区図書館

小名浜図書館長、勿来図書館長、常磐図書館長、四倉図書館長

欠席者 内郷図書館長

4 開 会 事務局

(委員10名中9名が出席しており、いわき市立図書館協議会規則第4条第1項の規定による半数以上の出席があり、会議が成立した。)

5 いわき総合図書館長あいさつ 館長

6 委員長あいさつ 草野(チ)委員長

7 議 事

いわき市立図書館協議会規則第2条第3項の規定により、草野(チ)委員長が議長となり、会議を進行した。

(1) 報告事項

ア 新型コロナウイルス感染症対策への対応について

事務局より、会議資料4頁に基づき説明した。(総務管理係長)

イ いわき市立図書館における電子図書館(電子書籍貸出サービス)について

事務局より、会議資料5～6頁に基づき説明した。(情報資料係長)

(意見、質疑応答)

委員長:「児童書読み放題パック」というのがあるが、内容はどのようなものか。

事務局:令和4年11月から導入し、これを導入した背景としては、電子書籍は1コンテンツ1人ということになっており、1つのコンテンツを誰か借りると他の方が借りることが出来なくなることから、学校などでみんな一緒に読書する時に少し使いにくいというお話があり、ちょうどこういった新しいサービスが始まり導入することとなった。これは主に児童書であり、今回は低学年から10代が幅広く利用できるものを50冊の中で満遍なくいれており、想定しているのは、朝読などで使っていただけるようなものを選んでる。

ウ 第四期子ども読書活動推進計画の数値目標の現状について

事務局より、会議資料7頁に基づき説明した。(情報資料係 堀金主事)

(意見、質疑応答)

齋藤委員:1か月に1冊も読まなかった児童・生徒の割合は、中学3年生は19%昨年度より改善されているということであるが、高校図書館だとあまり実感できないと感じるため、何かその要因やきっかけとなるようなことがあるか、参考にしたいと思いご質問させていただきたい。

事務局:不読率が減少した要因としては、この中学生については、平均読書冊数も増加しているが、いずれの要因にしても、前年度に引き続きコロナ禍における生活環境の変化が挙げられる。様々な活動が制限され、家庭や屋内で過ごす時間が増えたことが要因とみられている。今後も児童生徒の期待に応えられるような図書館運営が求められていると考えている。

坂本委員：学校図書館図書標準の達成率について、もう少し詳しく教えていただきたい。

事務局：学校図書館図書標準は、学校図書館に整備すべき蔵書の標準として国が定めているもので、この達成率について毎年国が調査している。令和2年度と比較して令和3年度の小学校の達成率が減少していることについては、「いわき市子ども読書活動推進委員会」において、各学校に学校司書が配置され、蔵書の整理が進んでいるのが要因のひとつであるとの意見があった。

エ 図書館事業に係る市議会からの質問及び答弁について
事務局より、会議資料8～10頁に基づき説明した。（総務管理係長）

（意見、質疑応答）

委員長：市議会定例会でのご質問への答弁内容を見て感じたことだが、文章が分かり易く、私たちもこれについて検討したり、再確認できると思い読ませていただいた。議員さんが図書館について、これだけ関心を持っていてくださっていることが分かって本当に嬉しく思う。

副委員長：常磐地区市街地再生整備が行われて、新しい図書館機能、それが常磐に整備されるというお話なので非常に期待している。

オ 交流拠点整備事業に係る先進地研修報告
事務局より、会議資料11～13頁に基づき説明した。（情報資料係長）

（意見、質疑応答）

委員長：先進地を視察されたということで、私たちも素晴らしい図書館、建物を見せていただき、どの図書館も天井が高く、吹き抜けがあって、明るくて気持ちよく本が読めると感じた。

副委員長：10年ぐらいのスパンで考えられているということだったので、その間にいろいろな社会環境の変化もあると思うが、今見せてもらったような皆さんに集まっていただけのような、ちょっとしたサービスやカフェが併設されているなど滞在できるような新しい形の図書館ができるといいと感じた。

坂本委員：様々な図書館の写真を見させていただきながら、私も自分で子どもを連れて初めてこの総合図書館に来た頃、自動販売機があり、外にはテラスがあり、気持ちよく本が読めて、読書に対しての付加価値というか楽しい時間にする事ができたように感じたことを思い出した。

先ほどの現状についてという一覧票の中でも本を読むということは、図書館に行くにはどうしてもご家族の方と一緒にいくというところがあるので、保護者の方と一緒にちょっとした楽しい時間を過ごせ、子どもたちもまた行きたい、保護者の方もまた連れて行ってあげたい、そういう相乗効果を生むのではないかと改めて画像を見ながら感じた。

委員長：常磐地区の複合施設の図書館の広さは、現在の常磐図書館のフロア面積とあまり変わらないというお話だったが、面積は広げられるのか。

事務局：会議に構成委員として出席しているのだが、支所など他にもいろいろな施設が入る複合施設であるため、図書館だけ面積を広げるのは難しい。

今後も関係部署や常磐地区の皆さんと話し合いながら、詳細を決めていくことになる。

委員長：今回の視察した図書館と比較して常磐図書館の蔵書数、貸出数はどうか。

事務局：常磐図書館の蔵書数は約4万冊、貸出数は約8万冊である。今回の視察先は中心館であり、常磐図書館とは規模が違うため、似たような規模の図書館の視察も必要と考えている。

カ その他

- 旅館業営業許可申請について
事務局より、参考資料に基づき説明した。 (山野邊副館長)
- 市内文化施設との連携事業について
(いわき芸術文化交流館、日本政策金融公庫、草野心平記念文学館)
事務局より説明した。 (情報資料係長)
- いわき市立図書館協議会委員の推薦と公募について
事務局より説明した。 (総務管理係長)

5 その他

(意見、要望等)

坂本委員：小中学校の教員の立場から御礼を申し述べさせていただきたい。

図書館の皆様には、子どもたち、また子どもたちの背景にある保護者の方へのアプローチを御協力いただき有り難いと思っている。いわき学校図書館研究会として出席しており、本年度子どもたちの読書感想文コンクールを小中学校で実施しているが、各校で子どもたちが書いた点数が10,519点、その感想文コンクールに課題図書、自由図書と大きく2種類あり、この応募数の割合を見てみると、小学生は課題図書が2割前後、自由図書が8割、中学校は課題図書が1割、自由図書が9割で、子どもたちは自由に本を手にとって読みたいと改めてこのコンクールから見えてくる数値を見て思った。本校の子どもたちも本が好きであり、読み聞かせのボランティアの皆様、学校司書の読み聞かせをととても楽しみにしている。本が好きな子どもたちが多く感じているが、アンケートなど質問にしてみると差が出てきたりする。一日の忙しい中で本を読む時間を作ると子どもたちは本が好きで読むが、家に帰って自由な時間に本が第1位にはならないのが今の子どもたちを取り巻く状況である。その姿を見ている保護者の方もあまり本が好きではないのかと感じてしまう。他のメディア媒体もいろいろパワーバランスがかわってきているのが現状なのかと思う。各地区の図書館に親子で足が伸びるようなアプローチをいろいろしてくださっており、そういうところでも学校でも保護者の方へ啓発しながら子どもが本の世界に親しめるようにしていきたいと思っている。

齋藤委員：高校生を普段見ている立場からのお話になるが、先月末に高等学校司書研修会があり、司書とのコミュニケーションの中で、高校生はあまり本は読まない、読む時間がないという話から、本が嫌いなわけではなく本が好きというのは皆さんの共通認識でした。高校生になると、部活動や課題、自分の進学、就職のために使わないといけない時間になり、読書をする気持ちや状態になれないので本を読む時間がなくほかのことが優先される。たくさん本を借りて読むことよりも好きな1冊の本をじっくり読むことを望んでいるため読書冊数も減っているのかもしれないという感想をもった。その中でも本が好きという気持ちは皆さん感じており、学校図書館だけではなく、高校生が社会に出た後に、いつでも本を探しに行ける場所として公共図書館があるということがとても大事なことで改めて感じたところでした。常磐にも新しく複合施設の中に図書館ができるが、親

しみやすい図書館を、そのようにいつでもされていらっしやると思うが、期待したいと思う。

柳田委員：先ほど先生方からもお話のあった課題図書について、うちの子どもたちは毎年課題図書の感想文を書いていた。私は子どもを育てるときにまだ図書館は文化センターのところにあったので、図書館に行って、プラネタリウムを観るということが子どもとの毎週の楽しみだった。できれば、常磐図書館もプラネタリウムのような夢のあるようなものがあつたらと思う。決して、つくってくださいではなくて、大きさや冊数を求めるのではなくて、宇宙旅行に行けるような時代になり、常磐図書館には宇宙に対する希望のようなものがあればと思った。

草野(祐)委員：家庭教育の立場で参加させていただいて、この資料を見て、公共図書館の利用はどのくらいか、目標値に差があると感じた。皆さんからもご意見が出ていたが、親と一緒に学校へ行く機会はあると思うが、図書館に子どもたちが楽しみを見つけながら出かけてくるのには、子どもだけで来れなかったりするのでは、何かこれからもっと幼少期に図書館と繋がって、そして、読書に繋がっていくような、きっかけ作りがあるといいと思う。それには、総合図書館もこの商業施設の中にあつて、商用と区別がされている中で、あまりお金がかからないでいろいろ楽しめたりするような形があるといいと思った。これからできる常磐の複合施設に関しては、皆様からお話のあった子どものそういった施設なども入ってくると思うので、1日図書館に来て過ごして、週末は1週間分の本を借りてとそのようなことが描けるといいと思った。

有賀委員：名取市図書館を見せていただいて、私の子どもの頃からとても古い図書館で名取の駅前にあのような立派な図書館、しかも併設のおしゃれな図書館ができるとは思っていなかった。旧地が資料館になっており、常磐も考古資料館があるので連携してみてもどうかと思った。今新しくできる図書館はカフェやレストラン、あるいは書店などと併設していて、特にあの多賀城に初めて行ったときは驚いた。スターバックが入っていて、利用者も多く、多賀城市の市民だけでなく仙台からの利用が多いと感じた。私は今も多賀城の図書館を利用しに行っている。

長岡委員：声の奉仕グループとって目の見えない方々に広報紙などを音訳しているボランティアグループで活動させていただいている。今回、湯本に新しい図書館が複合ビルの中に併設されるということで、小さいお子さん方が楽しめる施設というところに力を入れていただければ、延長線上には障がいのある方、目の見えない方にも使いやすい施設になってくると期待している。目が見えなくて移動が難しい方、今私達は対面朗読というのもさせてもらっていて、それを各図書館の一室を利用させていただいているが、そこに来るまでも大変な方もいらっしゃると思うので、そういうところにも配慮いただいて、図書館をつくっていただけるとありがたいと思いながらお話を聞いていた。

栃内委員：毎月1回子どものおはなし会があり、そのボランティア、案内をやっており、それを見ていると、お父さん、お母さんと子どもと3人で聞いている方が多く、いい傾向だと思っている。これを続けて今後ともやっていただければと思っている。

副委員長：商工会議所ということで経済界の代表という形で入らせていただいている。当初からビジネス支援の充実などいろいろお話をさせていただき、コーナーの充実など改善してくださり、非常にありがたいと思っている。そんな中で例えば、ラトブの館自体を1日全館図書館という形で何かそんなイベントをやってみたら面白いと思っており、そのお店にちなんだ本を置いてサテライトブックみたいな形で何か全体的に図書館と下の商業フロアが連携したイベントのようなものが1年に1回でも出来たら、図書館の認知度をより上げることもでき、みんなで図書館に行こうという形で皆さんにお店にも行ってもらうというような、相乗効果も生まれるかもしれない。何かそんな取り組みもやってみたら面白いかなと今考えていました。

委員長：1つの建物の中で全部のそれぞれの特徴があるお店や図書館が連携して何かテーマを決めて一緒にできるものがあったら素晴らしい。そういう夢をもってよろしくお願いします。

今日ここに来るときに、すれ違った高校生が本を読みながら歩いていた。スマホを持って歩いている子どもはよく見るが、本を持って見ている子どもはあまり見られなくなった。難しい本ではないかもしれないが、今は本や漫画、映画などもスマホで見ることができ、そういう社会の中、本を読

むという興味を持たせるというのは大変難しいと考えているが、委員の活動でも進めていけたらと思う。

それから、今クリスマスシーズンであり、図書館にもツリーがあり綺麗ですが、その周りにスペースを作り、クリスマスやサンタクロースなどのテーマに関連した本があり、今後も設置してほしいと思う。

また、図書館で皆さんに利用していただいた本が古くなって、貸し出しをしなくなった本はどこに行くのかと考えた。いわき市潮学生寮の図書館にはそのような本がいているが、他にはどちらのほうにいているのか。そして、衣類やランドセル、運動靴などが発展途上国の国々に送られているが、できればこの本も送れないかと考えた。難しいですか。

事務局：幼稚園、保育所、小学校に児童書など除籍になった本を提供することを今年度初めて行い、各施設の図書の実態になればと思っている。

委員長：せっかくの本なので、最後まで皆さんの目に触れていただけるような形にさせていただけたらいいと思う。

ここで議長の職務を解かせていただきたいと思います。皆さんご協力ありがとうございました。

6 閉 会